

FTI(トラフィンサート)工法

—水路リニューアルもFRPの時代へ—

昭和20年代後半から30年代の食糧増産時代に急造された農業用水路は、施工後数十年を経て老朽化が進行しつつあります。その結果、ヒビ、クラックなどによる機能低下を起し、改修・補修の必要に迫られています。当社は、軽量で高強度かつ自由で長尺成形が可能なFRP成形のノウハウを水路改修に応用すべく、誕生したのがトラフィンサート工法です。単に旧来の機能を回復するだけでなく、将来を見据えた新たな機能が付与を目指して開発継続した工法です。経済性、施工性及び耐久性に優れた工法として自身をもって推奨いたします。FRPだからできた高性能かつスピーディな“FRPトラフィンサート工法”水路の未来を見据えた工法です。



※大型水路にはプルコム製補修パネルもございます。

□ FRPトラフの物性

強 度		標準タイプ	
引張強さ	長さ方向	MPa	80~120
	幅方向		
曲げ強さ	長さ方向	MPa	80~121
	幅方向		
曲げ弾性率	長さ方向	GPa	7~9
比 重		-	1.4
線膨張率		10-5/°C	3~4
耐電圧		KV/mm	15~20
耐アーク製		sec	120~180

〔JIS K 7015 引抜一般用1種~4種〕

